

03昼休みの控えめ喘ぎ声セックス

(お昼休みにおまんこご奉仕)

(男の隣に立って普通に会話する)

社長。午前の業務、お疲れさまでした。
今のお客様で最後になります。お昼ですので休憩に致しましょう。

午後の予定を踏まえて、今からですと...
1時間ほどお休み頂けますが、昼食はいかがいたしましょうか。

はい。私のおまんこで。

あの...昼食を伺ったのですが...
ご昼食の前に、性処理ご奉仕...ということによろしいでしょうか？

...申し訳ございません。冗談はあまり得意ではありませんので。

かしこまりました。
先ほど申し上げた通り、1時間しかございませんので
社長の予定に影響がないように手短に処理いたします。

パンツだけ脱ぎますので...少々お待ちを。

(かすかな吐息)

ふっ...。

...お待たせいたしました。それでは、挿入の方に...
はい...その前に、私のおまんこの具合を確かめる...のですね。

(スカートを上げろと命令されて)

スカートをまくり上げて...どうぞ、ご自由にお確かめください。

(性器を触られる)

んっ...。

(かすかな吐息まじりに)

ええ...当然です...っ...
おまんこを濡らしておくのは、性処理秘書のつとめですから。

はい。お褒めに預かり光栄です...ふっ...。
おまんこは常にとろとろのふわふわにしており...んっ...
おちんぽをいつでも容易く啜え込めるよう心掛けています。

ふっ...んう...指が...入って...
はい...続けて、膣圧のチェックですね...。

では...お指をおまんこでぎゅっぎゅと締め上げさせていただきます。

ふっ.....んっ.....んう.....ふう...いかがですか？
はっ...ふくっ...はい...ありがとうございます。

ふっ...ふわとろでも...っ...膣圧は高く...心地よい締め付けで...
んっ...社長のおちんぽを...んう...手早くお射精に...導くおまんこ穴です。

くっ...お好きなように...っ...この性処理おまんこに...挿入し...
ふう...っ...お精子ぴゅっぴゅ...すっきりしてから...あっ...
気持ち良く...お仕事にお臨みください。

(指を抜く)
んっふう...っ.....ふう...はい。
おまんこチェック...お手数をおかけしました。

愛液がとろとろ溢れて、おまんこがおちんぽを欲しがっています。
そろそろご奉仕へ移ってもよろしいでしょうか？

はい、仰せのままに。

(ズボンを脱がす)

ん.....ふっ....

...もうすっかり勃起されてますね。

ガチガチのおちんぽがむわっと熱を放ってます。

はい。おちんぽへの前戯は不要で...即ハメいたします。

(またがる)

んっ...しょ...つと....

それではおまんこ、失礼いたします.....ふっ...ん...

ああ...ぱんぱんに張り詰めた亀頭がおまんこを押し広げて....

あっ...んう...おまんこが...亀頭をぱっくりと咥え込みました。

はぁ...はぁ...このまま奥まで...入れますね。

んっ...うう...っ.....くっ...う...あっ...入って...

ふっ...うううん...っ.....ふう...ふう...社長のおちんぽ...大きい....

はぁ...全部...入りました...っ...

おなかの中まで...みっちり満たされています。

ええ、時間もあまりありませんので...動いて参ります。

んっ...

ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...んう...

んっ...んっ...んっ...んっ...んっ...ふう....

(以下、腰を振りながら話す)

まずは...小刻みに...っ...上下していきます....

んっ...ひだひだが絡みついて...カリのあたりを擦るように...

んふう...腰を振ります....

はっ...はっ...はっ...はっ...はっ...はっ...はっ...ああ...

ふう...ふう...ふう...ふう...ふう...ふう...くっ...うう....

ああ...申し訳ありません...っ...

社長のお指が...あっ...私のおまんこ汁で汚れていましたね。

んっ...綺麗にいたしますので...お指を...私のお口の方へお願いします。
はい...あっ...ありがとうございます。

(男の指を咥え前後に動かす)

ああんむ...ちゅぶ...ちゅぶ...ちゅぶっ...ぶあ...
ちゅぽ...ちゅぽ...ちゅぽ...ちゅぽ...ちゅぽん...っふう...

(舐める)

んっ...れろ...んれろれろ...んぺろぺろぺろちろちろちろろ～...。
あっ...んれろ...れろれれろ...っ...れろれろれるれるるるう～...。

ちゅぶっ...ふう...綺麗にいたしました...あん...。
おまんこチェックして頂いたのに...っ...お掃除が遅れて失礼しました...。

んっ...んっ...んっ...んっ...んっうう...んっ...。

(一旦、腰振りを止める)

ふう...おまんこが、おちんぽに馴染んできました...。
次は...亀頭に子宮口をおしつけて...腰を前後にグラインドします。
鈴口と子宮口をぐりぐりと擦りつけて...。

(再度、腰振り)

んうう...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...ふっ...んっ...ああ...
はあ...はあ...はあ...はあ...はあ...はあ...はあ...んう...。

どうですか？ 社長おちんぽが...性処理秘書のおちんぽケースに...
んっ...ずっぱり...収まっています...っ...。

んあっ...あっ...あっ...あっ...あっ...あっ...あっ...ああ...んっ...
んっ...んっ...んっ...んっ...んっ...んっ...んっ...ふう...。

んっ...キスですか...？ ええ...仰せのままに...い...。
ただ...仕事中ですので...っ...あまり化粧が崩れないよう...
ふう...んっ...控えめに、お願いします...。

んうう...。

(唇を合わせる)

ちゅ...ちゅ...ちゅっ...ちゅう...んっ...

ふう...ふう...んむちゅ...ちゅ...ちゅ...ちゅう～...ちゅぱっ...。

(口を開けて舌先を絡め合う)

ああ～...んべろっ...ぺろぺろれろれろ...

んべろ...んべろ...んろ...んべろべろ...れろれろれろれろお～...。

ぶぁ...そろそろ...イきそうになってきましたか？

ええ...最後は...深いストロークで...

おちんぽ全体を、じゅぽじゅぽと擦り上げていきます...。

ふっ...んっ...はぁ...はぁ...はぁ...はぁ...はぁ...

あっ...あん...あん...あん...あん...あん...あん...あん...んう...。

んっ...気持ち良いですか？ ありがとうございます...っふう...

このままお射精して頂けるよう...っ...もっと激しくばんぱんと...お...

お尻を打ち付けて参ります...。

(少し速度が早くなる)

んおっ...おっ...おっ...おっ...おっ...おん...

おっ...おほっ...ほっ...ほっ...ほっ...ほっ...ほっ...おお...。

お腹の奥がごつごつと突かれて...おっ...

申し訳ございません...んお...声が...抑えられな...い...。

おっ...おっ...おっ...おっ...おっ...おっ...おっ...おっ...ほお...。

ほっ...ほっ...ほっ...ほっ...ほっ...ほっ...おおん...。

んくっ...出ますか...？ はい...私もイきそう...です...んお...

どうぞ...おまんこの中に出して下さい...んほお...

お...お精子...びゅーびゅー...生中出し...い...どうぞ...お...。

(射精直前、はげしめに)

おっ...おっ...おんっ...おんっ...おんっ...おんっ...おほお...

んお...お...いく...いくいく...出る...んおお...おんっ♥

(射精)

おっ...おっ...ほっ...出...てる...中に...い...

お...社長のどろどろお精子...っ...中にいっぱい...出てます...うん...。

おっ...っ...ほっ...ほあ.....はあ...はあ...っ...ふう...んっ...

ふう...ふう...やっと...収まりましたね...。

はあ.....はあ.....んっ...おちんぼ...引き抜きますね...。

おっ...んっ...おお...お...っ...んおっ♥

(吐息、「ほ」はほぼ発音しない)

ほお.....ほお.....申し訳ありません...。

カリが引っかかって...っ...感じてしまいました。

んっ...ふう...。

おちんぼ...汚れてしまいましたので、お掃除させていただきます。

お足元、失礼します。

ああ～んむっ...んっ...じゅるじゅる...じゅるるっ...。

(咥えたまま舐める)

んれるれるれる...れぶれぶ...れるれるれるれろれろれろお～...ちゅぽっ...。

尿道の中も...ずる...ずるずる...じゅるじゅぞぞぞぞぞ...

ちゅぽん...ふっ...こく...こく...ごくんっ...。

ふう...綺麗になりましたので、ズボンをお上げいたしますね。

(ズボンを上げる)

んっ...。

ふう...お疲れさまでした。

それでは...私は化粧を直して参りますので、
昼食はご自身でお取り下さるようお願いします。

...私の分も買って来て下さるのですか？

いえ...社長にそのようなことをさせるわけには...。

...お気遣い頂きありがとうございます。
では、お言葉に甘えさせていただきます。